

みやこんじょ



No.60

発行日 令和2年8月1日
発行 独立行政法人国立病院機構
都城医療センター
宮崎県都城市祝吉町5033番地1
TEL 0986-23-4111

基本理念

高度で良質な医療を提供し、病む人々が安心し、信頼できる病院をめざします

外科の紹介



統括診療部長
外科部長
緒方 健一



外科医長
小森 宏之



外科
大渕 昂



外科
堀之内 誠
(6 - 7月)

(8 - 9月)
松本 嵩史

(10月以降)
大徳 暢哉

■当科は日本外科学会指定施設および日本消化器外科学会の認定施設として4名のスタッフで診療を行っています。

令和2年4月からのメンバーは統括部長の緒方健一(平成1年度卒)、医長の小森宏之(平成8年度卒)、医師の大渕 昂(平成29年度卒)および 今年はフレキシブルとなりますが佐藤寛紀(平成27年度卒令和2年4-5月)、堀之内 誠(平成27年度卒 6-7月)、松本 嵩史(平成27年度卒 8-9月)、大徳暢哉(平成24年度卒10月以降)です。新旧入り混じる構成になっております。熊本大学消化器外科医局に所属しております。

■取り扱っている疾患としては消化管疾患(上は食道から下は肛門まで)、肝胆脾疾患、乳腺疾患、腹壁疾患(ヘルニア)など良性疾患から悪性疾患まで広い範囲を受け持っています。

外科の本領である手術では癌においては根治性の追求はもちろん、積極的に無理のない範囲で腹腔鏡下手術を取り入れております。

平成30年4月から令和2年3月においては虫垂炎100%、胆石胆囊炎においては96%、ヘルニア51%、そして大腸癌においては約50%を鏡視下で行っております。また上部消化管穿孔やイレウスの解除術等も積極的に腹腔鏡下で行い、肝表面の肝細胞癌に対する腹腔鏡下でのラジオ波凝固療法も行っております。さらに高難易度手術(食道・肝胆脾悪性腫瘍)も積極的に行っております。

■化学療法に関しましては上記領域の癌に対するレジメンをガイドラインに則り施行しております。最近症例も増え、多岐にわたる化学療法を実施しております。

■総胆管結石症や胆道癌脾癌などによる閉塞性黄疸に対するERCPやEST、ERBD、ENBDなどは当科が担当しております。内視鏡的なアプローチが困難な場合は経皮的にPTCD、PTGBDなどを施行し、様々な症例に対応できるのが強みです。

■週1回の症例・術前カンファレンスや腹腔鏡手術後ビデオを見直すことで、スタッフ間のチーム医療、手術手技の共有と各々の手技の向上を図っております。学会発表、研究会参加も積極的に行っております。

以上のような多岐にわたる診療を少人数ながら頑張っております。

地域完結型を第一に考えておりますが、都城市の地理としてアクセス可能な大学病院は宮崎・鹿児島・熊本と3つもあり、また都城市内にもそれぞれの強みを持つ病院が多数ありますので、患者さんの利益を第一に考え協力しながら安全・安心な診療を行ってまいります。

今後とも都城医療センター外科をよろしくお願ひいたします。

(外科医長 小森 宏之)

循環器内科の紹介と就任のご挨拶



臨床研究部長
阿南 隆一郎



循環器内科部長
剣田 昌伸

このたび、令和2年5月1日より、循環器内科を担当することとなりました剣田 昌伸（つるぎだ まさのり）です。鹿児島大学 心臓・血管・高血圧内科学からの出向です。都城では、前職から18年目の勤務になります。心機一転で頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

当科は、現在臨床研究部長 阿南医師と小生の二名ですが、外来の対応は主に剣田が行っています。現在、手術前ならびに周術期の循環器的精査、加療ならびに他科の患者さんのコンサルトを中心に行っております。

また、当院に受診、入院された患者さんで、循環器的に介入が必要な方のお世話をしています。

今後は、高血圧、脂質異常症、睡眠時無呼吸症候群などの生活習慣病の管理が必要な患者さんのコントロールならびに慢性期の循環器疾患の管理を行いたいと考えます。

現在、当外来で行える検査は、心臓超音波検査、24時間ホルター心電図、冠動脈CT等です。

先生方には、いろいろお世話になることがあると思いますが、今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

(循環器内科部長 剣田 昌伸)

皮膚・排泄ケア相談ホットライン開設のご案内

令和2年7月より
WOC相談ホットライン開設します!!

地域医療機関の看護師さまへ

皮膚・排泄ケア認定看護師が
創傷(Wound)管理(褥瘡のみ対応)
ストーマ(Ostomy)管理
失禁(Continenence)ケア
など排泄管理および、患者・家族のセルフケア支援に関するご相談に対応します。
まずはお電話でお問い合わせください。

【窓口：地域医療連携室】
TEL : 0120-411-329
窓口対応：平日 9時00分～16時00分

 独立行政法人国立病院機構
都城医療センター

《案内リーフレット》

地域医療機関の看護師向けに皮膚・排泄ケア相談ホットラインを開設しました。

開設の目的は、地域医療機関看護師の知識、技術の向上を図り、対象患者さんへの看護ケアに活かすこととしています。

今回、案内リーフレットを都城市・三股町地区の有床診療所に配布しました。

皮膚・排泄ケア認定看護師が地域医療機関の看護師からの褥瘡ケア、ストーマケア、失禁ケアなど排泄管理及び患者・家族へのセルフケア支援に関する相談に対応していきます。

さらに、皮膚・排泄ケア相談ホットラインを通して、地域医療機関看護師と連携を図ることで地域活動の強化を目指していきたいと考えています。

何かお困りごとなどありましたら是非ご連絡ください。

(皮膚・排泄ケア認定看護師 平野香奈)

診療看護師の活動のご案内

令和元年4月より、NP教育課程修了者が1名加わり、診療看護師2名で活動しております。診療看護師はNP教育課程修了後、1年間の各診療科の研修を経て経験を積みます。今年度は、1名は呼吸器内科を、もう1名は泌尿器科を中心に、医師や看護師とともに日々のケアを行っています。当院は、2次救急病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センターなどの特色を持ち、地域の医療支援病院として、限られた医師数で救急患者の受け入れや手術・化学療法など多くの癌治療の役割を担っています。そのため、医師の負担軽減やチーム医療の推進の一環として、診療看護師が「診療の補助」の範囲内で、患者や家族への病状説明や、患者急変時の初期対応、必要な特定行為などをタイムリーに提供できるように努力しております。さらに、院内の全ての職種が、緊急時の対応ができるように、BLS研修を実施したり、看護職の臨床推論能力の強化を目的とした学習会などを計画、実施したりしています。また、昨年度は、「PICC外来」を新設し、院外からのPICC挿入の受け入れを開始しました。末梢ルート確保困難者や在宅中心静脈カテーテルを検討されている患者さんがいらっしゃいましたら是非ご相談ください。現在、新型コロナウィルス感染症の影響で地域活動が自粛されていますが、今後は感染拡大防止対策を遵守しながら、他施設の医療従事者や地域の皆さんに貢献できるよう活動していきたいと思います。

(診療看護師 原田 由紀子)



エコー検査



PICC挿入

新任医師紹介



氏名: 徳田 溫子
勤務部署: 産婦人科
着任にあたっての抱負: 6月から都城医療センターで働くかせていただきます産婦人科の徳田です。都城を満喫します。



氏名: 原尾 拓朗
勤務部署: 小児科
着任にあたっての抱負: 日南市での勤務を経て6月より着任いたしました。
 新生児・小児医療に貢献できるよう頑張ります。

永年勤続表彰



氏名：佐多 卓也

勤務部署：薬剤部長

30年表彰を受けての感想・今後の抱負：昭和62年に国立療養所南九州病院での賃金職員が始まりで4県11か所の施設に赴任しました。各施設での色々な人との出会いに感謝です。



氏名：田中 昭人

勤務部署：管理課長

30年表彰を受けての感想・今後の抱負：この度、永年勤続の表彰を賜り、誠にありがとうございます。早いもので、採用から30年が経過し、残すところ10年を切ることになりましたが、誠意を尽くして職務に邁進致す所存でございます。今後とも何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



氏名：北野 喜恵

勤務部署：医療安全師長

20年表彰を受けての感想・今後の抱負：20代でNHOに就職し、色々なことを学ばせていただき、沢山の方々に支えていただき感謝します。これからも私にできることを一つ一つ達成していくたいと思います。



氏名：中嶋 さとみ

勤務部署：GCU 看護師

20年表彰を受けての感想・今後の抱負：家族や周りの皆様に支えられ働くことができました。感謝です。残りわずか、役に立てるよう頑張りたいです。

氏名：緩詰 美智代

勤務部署：外来 看護師

20年表彰を受けての感想・今後の抱負：勤続20年の表彰有難うございます。支えてくれた家族、そして仕事仲間に感謝です。これからも笑顔を大切に頑張ります。



氏名：小川 万里子

勤務部署：手術室 看護師

20年表彰を受けての感想・今後の抱負：周りの方々に支えられあつという間の20年でした。これからも今までの経験を活かして頑張っていきたいと思います。



氏名：山田 恵

勤務部署：NICU 看護師

20年表彰を受けての感想・今後の抱負：24歳で当院に就職し、新生児医療という生き甲斐に出会うことができました。働ける限り、新生児の為に頑張っていこうと思います。



氏名：東 智美

勤務部署：手術室 看護師

20年表彰を受けての感想・今後の抱負：新卒よりお世話になり、今年で20年の勤続表彰をいただきありがとうございます。初心を忘れずにこれからも患者の心に寄り添えるよう邁進していきます。

連携 医療 機関のご紹介

松岡救急クリニック分院

院長 野田 慶太 先生



当院は2019年7月に開院し、ちょうど1年が経過したところです。

当院は24時間 365日 開院している救急クリニックです。日中／夜間、平日／休日に関わらず、小児から高齢者までの内因性疾患・外傷などに対応しています。救急車の受け入れにも対応しています。

また、平日の日中は一般外来も行っており、慢性疾患のフォローや貴院などの専門治療を受けられた方のフォローなども行っています。

当院は当院のみで診断・治療を完結できないこともあります。貴院のように専門的な診断・治療、あるいは入院加療を行って下さる医療機関に支えられて診療を行っています。

今後も微力ではありますが、貴院のお助けをお借りしながらこの地域の医療の一翼を担っていけるよう精進していきます。今後ともより密接な連携を宜しくお願い致します。

西浦病院

院長 西浦 亮介 先生



当院は昭和57年に現理事長と故西浦弘（泌尿器科）が内科と泌尿器科を標榜し、以来地域の医療に努めてまいりました。私は約10年間の都城市郡医師会病院で内科医を経て、平成30年に当院院長を継承し、地域の方々、スタッフに支えられて微力ながらも日々の診療に奮闘しております。

私は腎臓内科専門医・透析専門医で、多くのCKDで悩まれている患者様のご相談をいただき、CKD初期対応や進行した保存期腎不全から透析導入までの方々への方向付けをさせていただいております。また、腎疾患に限らず入院の必要な状態にある糖尿病治療・肺炎・心不全・ガン終末期医療などの治療も貴院・医師会の多くの先生方にご紹介いただいておりますことをこの場を借りて感謝申し上げます。有床医療機関が減少している昨今、高齢化がすすむ患者様の行き場の限られた状態も増えている医療現状を実感しますが遠慮なくご相談いただけますと幸いです。

都城医療センターの方々にはいつも急な患者様をお願いするケースもしばしばですが、いつも快く迅速な対応を心よりいただき感謝しております。疾患とその治療が多様化する現在の医療には個人医療機関では限界を感じるなか、貴院が我々の頼みの綱であり今後とも何卒宜しくお願い致します。

遠隔授業実施の取り組みについて

都城医療センター附属看護学校では、新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みとして、「Cisco Webex Meeting」を用いた遠隔授業を導入しました。

遠隔授業の利点として、学生がどこでも授業が受けられ、音声機能による講義中の発言やチャット機能によるやりとりができることがあります。また、録画機能の活用により、予習・復習への活用もできます。今後もこれらの利点を最大限活用していきたいと考えています。

以下、学生が遠隔授業を受けてみての感想を紹介いたします。

遠隔授業の導入により私たちは臨時休校明けの自粛期間中も安心して学業に専念することができました。オンライン授業のメリットとしては、リアルタイムで繋がっているので、質問できたり先生からの問い合わせに答えるなど、普段と近い形で授業を受けられることです。そのほかにも講義を再生し復習に役立てるなどオンラインならではのよさもあります。

まだまだ新型コロナウイルス感染の第二派、第三派が心配されるなか、安心して学業に専念するためには、これから時代はオンライン授業の導入が必要不可欠だと感じています。 (1年生 畠中 魁佳)

都城医療センター附属看護学校では、5月上旬からオンライン授業が始まりました。私自身も初めてのオンライン授業であり、どのような授業になるのか想像がつかず、不安もありました。しかし、実際に講義をオンラインで講義を受けてみると、チャットの機能を活用し、多くの学生が発言することもできました。また、講義も録画され、繰り返し視聴することができるため、自宅でも復習することもでき、様々なメリットがありました。

今後も様々な場面でオンライン等の機能を活用し、学習に対して意欲的に取り組んでいきたいと思います。 (2年生 久保 恵愛)



がん相談支援センターの紹介

がん相談支援センターは、全国のがん診療連携拠点病院に設置が義務付けられている「がんに関する相談窓口」です。がん専門相談員（看護師、医療ソーシャルワーカー等）が常駐しておりがんに関する情報の提供や不安な気持ちを聞いてほしい、医療費について相談したい、セカンドオピニオンを受けたい等さまざまな相談に対応しています。

当院における昨年度のがん相談件数は1,389件であり、うち523件は院外の患者さんや家族、在宅支援者等からの相談でした。また、昨年7月に、社会保険労務士による「治療と仕事の両立支援相談窓口」を開設したこともあり、休職中の社会保障制度や復職に際しての不安など就労に関する相談も徐々に増えてきています。

また、インターネットなどが普及しがんに関する情報が容易に得られるようになった反面、情報が溢れすぎてかえって混乱してしまう方も少なくありません。そこで、昨年12月には正面玄関近くのラウンジに「がん情報コーナー」を設置し、国立がん研究センターがん対策情報センターが発行している各種がんの小冊子やその他関連する書籍等を自由に閲覧できる空間及び掲示板を設置し、がん情報の集約を図りました。実際に掲示板を見て相談に来られる方や小冊子の減り具合などから設置の意義を実感しています。

今後も県西地区のがん相談窓口として、積極的な情報発信に努め、気軽に立ち寄ってもらえるような環境・雰囲気づくりに努めていきたいと思います。

(相談支援センター MSW 和田 智美)



手作りマスク ボランティア活動取り組みについて

新型コロナウイルスが流行し、マスク不足で困っている患者様方へ教職員、学生一同で手作りマスクを作成しました。

以下、学生のメッセージを掲載いたします。

私は都城医療センターに入院されている患者の皆様が使用するマスクが不足しているとのことで、手作りマスク寄付のボランティアに参加させていただきました。先生方を通して私達の作成したマスクで妊産婦の皆様に喜んでいただき、笑顔になっていたということを知り、何気ない行動一つで人を笑顔にできると思いました。

私は祖父母にも同様にマスクを送ったのですが、「助かっているよ」という声を電話越しで聞くことができ、私自身も嬉しくなりました。

今回の経験から、深刻なマスク不足に陥った時にでも助け合いの輪を広げることで、新型コロナウイルス感染の危機を乗り越えることができるのだと感じました。

(2年生 長島 麻衣)

現在、世界中で新型コロナウイルスが流行し、日本でも多くの人が命を落としています。そのような状況の中、私にもなにかできることはないかという想いでいっぱいでした。そこで、小さなことですが、都城医療センターへ来て下さる患者様のもとへ、手作りマスクを届けさせてもらいました。病院の方々、そして患者様がとても喜んでくださったことをお聞きし、貢献することができたことに喜びを感じます。

新型コロナウイルスに感染しないために、一人一人が予防・自粛を心がけ、命を守ることが大切だと考えます。そして、自分にできることはないか考え、行動していくことが誰かのエネルギーになるのではないかと思います。今の大変な時期を乗り越えていくために、皆で支えあい、協力し合える社会を作っていくべきだと思います。

(2年生 大石 りえ)



外来診療科別週間担当医当番表 独立行政法人 国立病院機構 都城医療センター

【全診療科 初診予約制】受付時間 8:30～11:00

【2020年6月1日】

診療科名等		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科 **2	初診 血液		前田 宏一		佐藤 誠一	
	肝	加藤 順也				
	再診	前田 宏一 佐藤 誠一	加藤 順也 佐藤 誠一	前田 宏一 加藤 順也 佐藤 誠一	前田 宏一 加藤 順也 佐藤 高智徳	前田 宏一 加藤 順也 佐藤 誠一
循環器内科		一般	剣田 昌伸	剣田 昌伸	剣田 昌伸	剣田 昌伸
		特殊		心筋症外来 (午後)		
呼吸器内科		初診	今津 善史 宇都 加寿子		宇都 加寿子 今津 善史 宇都 加寿子	
		再診	今津 善史 宇都 加寿子		今津 善史 宇都 加寿子	今津 善史 宇都 加寿子
呼吸器外科		初診		手術日	手術日	手術日
		再診		手術日	手術日	手術日
小児科	午前	1 診	内村 絵美 柳邊秀一	柳邊秀一	入佐 浩史 原尾 拓朗	裴 孝塙 柳邊秀一
	午後	1 診	内村 絵美 柳邊秀一	内村 絵美 柳邊秀一	入佐 浩史 原尾 拓朗	内村 絵美 原尾 拓朗
	午後	2 診	入佐 浩史	裴 孝塙	裴 孝塙	
	午後	3 診			シナジス外来 (8月~3月)	
外科		初診	小森 宏之 緒方健一 小森 宏之	手術日	小森 宏之 大渕 昂 乳腺(緒方健一)	緒方健一 緒方健一 堀之内誠 乳腺(緒方健一)
消化器病センター		再診	藤原 利成	駒田 直人 駒田 直人 成	駒田 直人 内視鏡検査・治療	駒田 直人 駒田 直人
		内視鏡	駒田 直人			藤原 利成
NST 外来				駒田 直人 (第二、四火曜日 14:00~16:00)		
整形外科		初診	吉川 敦恵	手術日	吉留 綾	吉川 敦恵
		再診	吉川 敦恵			
		特殊検査	骨粗鬆症検査	骨粗鬆症検査	骨粗鬆症検査	骨粗鬆症検査
リウマチ科 **2		初診	濱田 浩朗			
		再診	濱田 浩朗 吉川 敦恵	吉川 敦恵	手術日	濱田 浩朗 吉川 敦恵
泌尿器科		1 診	手術日	山崎 丈嗣	慶田 喜文	山崎 丈嗣
		2 診		慶田 喜文		慶田 喜文
皮膚科				中山 文子 (9:30~13:00)	中山 文子 (9:30~13:00)	中山 文子 (9:30~13:00)
産婦人科		初診	徳永 修一	古田 賢	徳永 修一	古田 賢
		再診	田中 治成	徳永 修一	古田 賢	徳永 修一
耳鼻咽喉科		一般	外山 勝浩 猿渡 英美	外山 勝浩 猿渡 英美	外山 勝浩 猿渡 英美	外山 勝浩 猿渡 英美
		難聴外来	猿渡 英美 (14:00~17:00)			
放射線科		放射線治療	加治屋 芳樹	加治屋 芳樹	加治屋 芳樹	加治屋 芳樹
		画像診断	日野 祐一	日野 祐一	日野 祐一	日野 祐一
歯科口腔外科		一般	田畠 雅士 新屋 俊明 西久保 舞	田畠 雅士 新屋 俊明 西久保 舞	田畠 雅士 新屋 俊明 西久保 舞	田畠 雅士 新屋 俊明 西久保 舞
		ペインクリニック				横山 幸三 (終日手術・外来不定期)
		障がい者歯科				森主 宜延 (月2回)
がんサポート外来						
緩和ケア外来						
特殊外来		マザークラス (第二土曜日・第四月曜日)	フットケア外来	リンパ浮腫外来 助産師相談室 (午後)	リンパ浮腫外来 PICC外来 (午後)	ストーマ外来(午後) 母乳外来 遺伝カウンセリング外来 (14:00~15:00)

※1 全診療科初診予約制となりますので、事前に診療FAX連絡票にてご連絡頂きますようお願いします。

※2 医療機関の方へ:血液内科、リウマチ科の初診については、事前に初診紹介予約申込書と共に、最新の血液データを送ってください。

【地域医療連携室・がん相談支援センター】フリーダイヤル (0120) 411-329 FAX (0986) 26-1893



独立行政法人
国立病院機構

都城医療センター

(地域がん診療連携拠点病院・
地域周産期母子医療センター)

〒885-0014 宮崎県都城市祝吉町5033番地1

TEL/0986-23-4111(代表) FAX/0986-24-3864

E-mail/621-miyakonojo@mail.hosp.go.jp http://www.nho-miyakon.jp

編集発行：広報委員会